

警察庁には、「情報通信技術」という専門性をキャリアの軸にした、技術のプロフェッショナルがいます。

それが、警察庁技術職員です。

110 番受理システムや警察の無線システム等警察独自の情報通信システムの構築、犯罪捜査におけるデジタル・フォレンジック（データ解析）やサイバー攻撃対策などの業務を担い、第一線警察活動に欠かせない存在として、国民の安全・安心を守っています。

2

理系としての素養を活かして
「安全・安心な日本の実現」。

「情報通信技術」という専門性を活かした業務ですが、学生時代に土木、農学、化学などを学んでいた職員も多数活躍しており、採用区分にとらわれず、理系としてのバックグラウンドを活かして技術力で社会に貢献できる職場です。



4

ワークライフバランスの推進。

職員が仕事に打ち込むためには、ワークライフバランスの充実が不可欠です。

職員が、充実した私生活を送り、仕事において自己の能力を最大限に発揮できるよう、働きやすい職場環境づくりを推進しています。

また、子供が3歳になるまで休業できる育児休業制度をはじめとした妊娠・出産・育児の支援に関する制度も整っており、男女関係なく、子育てをしながら長く安心して働くことができます。



警察庁

National Police Agency

募集資格

- ・国家公務員採用一般職試験（大卒程度、高卒者）試験合格者
- ・第一級陸上無線技術士 資格保有者
- また、一定の職歴等を有する方を対象とした、経験者選考採用を実施する場合があります。

採用窓口について

警察庁技術職員の採用は、各管区警察局、四国警察支局、北海道警察情報通信部及び東京都警察情報通信部において実施しています。

詳しくは、[警察庁採用情報サイト]をご覧ください。



警察庁技術職員 公式 X

警察庁及び各地方機関における業務説明会や官庁訪問情報など、警察庁技術職員の採用に関する情報を発信しています。

X@NPA_infocom



警察庁技術職員 業務紹介動画

警察庁技術職員の活躍や、業務の魅力・やりがいを動画にしました。

若手職員からのメッセージもありますので、ぜひご覧ください。

(警察庁公式 YouTube チャンネル)



採用に関するお問い合わせ

警察庁長官官房人事課

警察庁一般職技術系採用担当

〒100-8974 東京都千代田区霞が関二丁目1番2号

TEL：03-3581-0141（代表） 内線 2698

e-mail：ippansyoku-saiyo@npa.go.jp

採用に関する各種お問い合わせは、お気軽に上記までご連絡をお願いします。



警察庁技術職員（エリア別採用）

警察庁



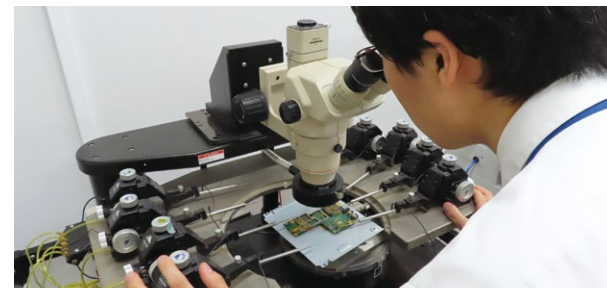
採用案内

警察庁技術職員 役割・魅力

1

理系のチカラで警察にイノベーションを。

様々な先端技術の登場や社会のデジタル化の進展により、技術分野は革新の時期を迎えています。予測不可能な時代だからこそ、技術面で警察のあらゆる問題を解決・高度化していくことが求められています。



3

質の高い充実した研修制度。

入庁後1年間の採用時研修や、入庁2年目以降の充実した各種専門研修など、基礎的な内容から専門的な内容まで、全国の同期と切磋琢磨しながら学ぶことができる質の高い研修制度が整っています。





機動通信課

事件・事故・災害発生に備える、発生時の通信を守る

事件、事故、災害時の、警察活動を迅速かつ的確に展開するためには、「警察の神経系統」となる強靱な情報伝達手段が不可欠です。

機動通信課では、各種警察活動で用いる無線機等の通信機器や通信施設が常に万全の機能を発揮できるように維持管理を行うほか、臨時的な情報通信対策が必要となる災害や障害の発生に備えた訓練等を実施しています。

災害発生時には、機動通信課の職員を中心に構成される機動警察通信隊が直ちに出勤し、状況に応じた通信手段の確保や現場映像の伝送によって第一線警察活動を支援します。



関東管区警察局

2023年 採用
一般職試験（大卒程度）
化学

現在の業務内容

警察署に設置されている電子交換機の新設や障害対応を行っています。

また、警衛業務に関わることもあります。通信機器設置や映像撮影により、警察官の業務の役に立てることは嬉しく思います。

警察署員の方から直接感謝の言葉をかけてもらうことにやりがいを感じます。

通信施設課

警察の情報通信システム・インフラをつくる

いつどこで発生するか分からない事件、事故、災害に的確に対応するため、警察では全国を網羅する通信網が構築され、現場警察官の指揮命令や報告連絡に活用されています。

通信施設課では、このような通信網を構成する警察通信施設の整備等を行っています。整備に当たっては、耐災害性、機能性、利便性、コスト等を踏まえつつ、最適な技術を導入していきます。「警察の神経系統」を情報通信技術により実現する通信施設課の責務は、ますます重要なものとなっています。



中国四国管区警察局 四国警察支局

2020年 採用
一般職試験（大卒程度）
土木

現在の業務内容

警察通信施設の整備工事に携わっています。

実際に設計図面を作成することもあります。学生時代にCADを使っていたため、学校で学んだ事が大変役立ちました。

また、プログラミングを授業で習っていたため、Excel マクロを作成し事務作業の自動化を図るなどして業務を効率的に遂行しています。

情報技術解析課

サイバー技術で新たな犯罪に対応する、社会のセキュリティを高める

情報化社会の進展は、匿名性が高く、追跡が困難なサイバー空間を利用した様々な犯罪の敢行を容易にさせているほか、近年では、国家を背景としたサイバー攻撃の拡大等サイバー攻撃の洗練化・巧妙化が一層進展しており、こうした犯罪の取締りにおいては、高度な技術的知見が必要です。

情報技術解析課では、捜査で押収したスマートフォン等の証拠品の解析など、情報技術を用いて、警察の捜査活動を支えています。また、専門的な知見や高度な技術を生かし、不正プログラムの解析、ぜい弱性の調査・分析等の取組も行っています。



九州管区警察局

2021年 採用
一般職試験（高卒者）
技術（機械系）

現在の業務内容

電子機器等に記録された電磁的記録の抽出、可視化を行っています。捜査で押収された証拠品が対象となるため、中には水没したものや破損しているものもあります。

破損した電子機器からデータの抽出、可視化が行えた際には、とてもやりがいを感じます。

多様な活躍のフィールド

都道府県警察への出向



福島県警察本部 生活安全部
サイバー犯罪対策課 警部補

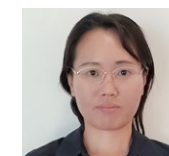
2009年 採用
国家公務員Ⅱ種試験
（電気・電子・情報）

現在の業務内容

福島県警察のサイバー犯罪対策課に警察官として出向し、事件捜査（解析）を担当しています。捜査の過程において、捜索時に差押える対象の電子機器等を適切に判断し、押収したスマートフォンやパーソナルコンピュータ等の電子機器からデータを抽出し、解析作業を行っております。

時には、被疑者からの聴取や画面上では視認できないデータの可視化など高度な技術を要する業務もあります。

他省庁出向



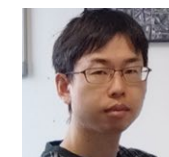
外務省（在ムンバイ日本国総領事館）

2009年 採用
国家公務員Ⅱ種試験
（物理）

現在の業務内容

出向先である日本国総領事館にて広報文化班業務に携わっております。広報文化班は日本語、和食や日本文化などの発信を主な業務としており、その方法は、イベントや講演を現地の協力団体と共に企画・開催するほか、教育機関への働きかけ、SNS を利用しての発信など多岐に渡ります。基本的には英語を使用して現地の方とコミュニケーションを取るなど言語も業務も警察庁の業務と全く異なるものです。

留学



ケンブリッジ大学

2010年 採用
国家公務員Ⅱ種試験
（電気・電子・情報）

現在の業務内容

現在、法学部内にある犯罪学研究所にて、英国における能動的サイバー防御に係る手法や戦術に関する研究を進めています。客員研究員としての立場であるため、学生と共に授業に参加し議論を行うほか、大学院主催のカンファレンスなどにも参加し、情報収集を行っています。